

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和7年12月24日
室蘭開発建設部いのちとくらしをまもる
防災減災

国道453号 蟻渓道路 全線開通します

～事前通行規制区間の回避・有珠山噴火時の避難ルート～

室蘭開発建設部が整備を進めている、国道453号 蟻渓道路（延長5.4km）が全線開通しますので、下記のとおりお知らせいたします。

当該事業により、事前通行規制区間や急カーブ等の隘路区間を回避することで、生活に関わる移動や高次医療施設への救急搬送における通行の確実性や走行性等の向上に寄与するとともに、有珠山噴火時の避難ルートに位置付けられており、災害時の避難・救援活動を支援します。

なお、一部区間では引き続き工事を実施しています。工事中は道路利用者の皆様に大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

(1) 開通区間 国道453号 蟻渓道路 延長5.4km（開通済み区間 延長3.2km）
伊達市大滝区北湯沢温泉町～有珠郡壯瞥町上久保内

(2) 開通日時 令和8年1月16日（金）午前7時

※気象状況により、日時を変更する場合があります。

(3) その他 通行方法の詳細は別紙を参照してください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部

道路計画課 課長 小林 晓 電話：0143-25-7046（内線 351）

道路計画課 道路調査官 尾野 陽子 電話：0143-25-7046（内線 249）

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>



国道453号 蟻渓道路

延長2.2km

令和8年1月16日(金) 7時開通

- 国道453号は札幌市を起点とし千歳市等を経由して伊達市に至る幹線道路です。
- 当該区間は、落石・土砂崩落の事前通行規制区間や現道隘路区間等を回避し、道路の安全な通行の確保を目的とし整備を進めてきました。
- 令和8年1月16日(金)7時に、壮瞥町蟠渓～上久保内における延長2.2kmが開通することにより、蟠渓道路が全線開通します。

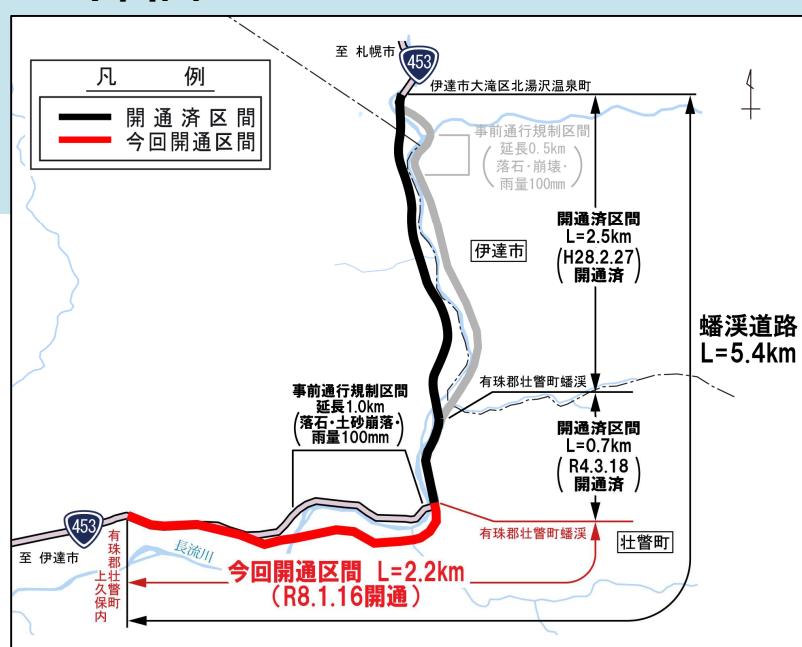
事業概要



▼位置図

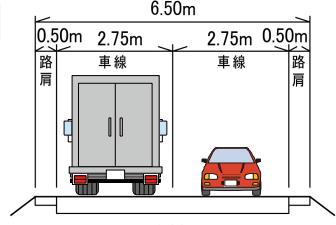


▼平面図

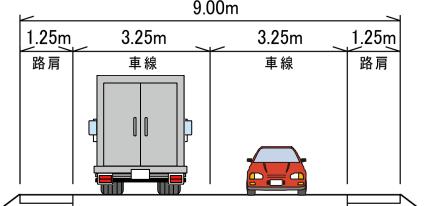


▼標準断面図

【整備前】



【整備後】



道路交通の走行性・安全性、有珠山噴火時の避難や救助活動の確実性が向上し、地域で生活が営める環境を維持



地域安全保障の エッセンシャル ネットワーク

国道453号 蟠溪道路

- 今回開通区間に並行する現道の事前通行規制区間では、直近10年間で13回、合計160時間以上の全面通行止めが発生する等、地域の日常生活等に大きな影響を及ぼしています。
 - 当該道路は、有珠山噴火時には住民の避難路や緊急輸送ルートとして重要な役割を担っており、円滑・確実な避難および救助活動等ができる環境の確保が求められています。
 - 当該道路の全線整備により、道路課題箇所を回避とともに、有珠山噴火時の緊急輸送ルートが強化されることで、生活に関わる移動の走行性や安全性、有珠山噴火時の避難・救援活動の確実性の向上が期待されます。

当該道路における課題

凡 例

●当該道路の課題箇所数

うち 今回開通区間	計	
■:災害危険箇所※	16箇所	5箇所
□:事前通行規制区間	2区間	1区間

※防災点検要対策箇所（落石・崩壊、岩盤崩壊、擁壁）

今回の開通で 課題箇所を全て回避

概要図(河川と並んで走る道路)

直近10年間で13回発生、2025年にも2回発生

2025年 2回

2016年 3回

2023年 1回

2022年 1回

当該道路の通行止め回数

2021年 2回

2020年 1回

2019年 1回

2018年 1回

2017年 1回

2016年、2018年は通行止め事象が発生

事前通行規制区间 延長1.0km (落石・土砂崩落・雨量100mm)

開通済区间 L=0.7km (R4.3.18 開通済)

今回開通区间 L=2.2km (R8.1.16開通)

狭陥区间

壮瞥町

至伊達市

453

有珠郡壮瞥町上久保内

開通済区間 L=0.7km (R4.3.18 開通済)

今回開通区间 L=2.2km (R8.1.16開通)

四

■ バス事業者

- ・国道453号 蟻渓道路の未整備区間は道路幅員が狭く、カーブが連続していることに加え、トレーラーをはじめとした大型車両の通行も多いことから、路線バスが走行する場合は速度を落とさざるを得ない状況です。
 - ・国道453号 蟻渓道路が全線開通し、当該区間の走行性が向上することで、路線バスの定時性向上やバス運転手のストレス軽減につながることを期待しています。

過去100年に発生した有珠山噴火

噴火の時期	前回噴火からの間隔	噴火の場所 災害の種類	主な被害
1943年から 1945年	33年	山麓噴火（東麓） 火災サージ・降灰	降灰で幼児1人窒息死 地殻変動で山林・耕地被害
1977年から 1978年	32年	山頂噴火 火災サージ・降雨型泥流・降灰	降雨型泥流で死者・行方不明者3人 降灰・地殻変動・泥流の被害多数
2000年	22年	山麓噴火（北西麓） 火災サージ・熱泥流・降灰	事前避難で死傷者なし 地殻変動・熱泥流・噴石で道路・建物被害

資料：伊達市HP

有珠山頂噴火の危険区域予測図（火碎流・噴石・降灰）

凡	例
火碎流	国道
火碎サージ	道道
降灰(厚さ30cm以上)	高規格道路
降灰(厚さ50cm以上)	
山頂噴火	避難経路
隕石飛来	指定避難所
降灰(西風時)	宿泊施設 (協定結紹)

国道453号は
珠山火山避難計画において
避難経路として位置づけ

千歳方面
(自衛隊・)
空港等

災害時に避難所や
緊急車両の駐車場として
宿泊施設の利用が可能

資料：有珠山火山防災マップ（R3.4）、有珠山火山避難計画（R6.7）、ヒアリング調査

声

■壮瞥町役場

- ・国道453号は、有珠山噴火等の大規模災害発生時における大滝区方面への避難ルートとして、また、千歳方面からの救援ルートとして極めて重要な道路であり、国道453号蟠溪道路の全線整備により地域の防災力が向上することは、住民にとって大きな安心材料になります。

救急搬送の安定性が向上し、 地域で生活が営める環境を維持



地域安全保障の
エッセンシャル
ネットワーク
WISENET
2050

西胆振行政事務組合壮瞥消防

防火の輪 つなげて広げて なくす火事
西胆振行政事務組合 伊達消防署・壮瞥消防署・壮瞥駅防災協会



国道453号 蟻溪道路

- 伊達市大滝区における救急搬送は、隣接する壮瞥町を拠点に対応しており、全ての救急搬送は当該道路を往復で利用して主に室蘭市や伊達市の病院へ向かいます。
- 当該区間は狭隘で急カーブや急勾配が多く、患者の容体悪化を防ぐため減速走行を余儀なくされています。また、大雨等により通行止めとなつた場合は、更に10分程の迂回が生じます。
- 当該道路の整備により、確実性と走行性の高い搬送ルートが確保され、救急搬送の安定性向上が期待されます。

伊達市大滝区の救急搬送ルート

●当該道路の課題箇所数

凡 例	計	うち 今回開通区間
■: 国 道		
■: 道 道	12箇所	6箇所
■: 高規格道路	7箇所	2箇所
➡: 搬送ルート		

今回の開通で
課題箇所を全て回避

■ 蟻溪道路
L=5.4km

■ 蟻溪道路が通行止め時には
迂回路として隘路・急カーブ・
急勾配の多い町道の使用を
余儀なくされている

伊達市
大滝区

整備前の搬送イメージ
6.5m



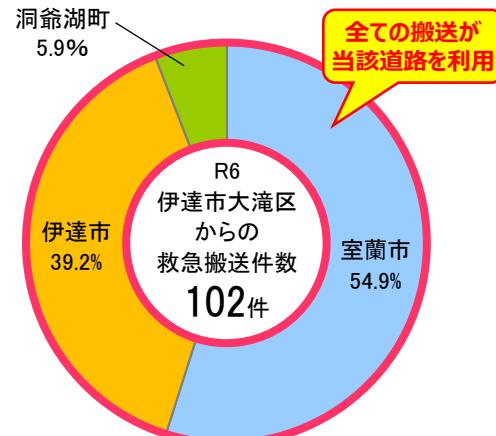
道路幅員が
狭く緊急
搬送を阻害

整備後の搬送イメージ
9.0m



幅員が確保され円滑な
緊急搬送を支援

伊達市大滝区からの方面別搬送状況



資料：西胆振行政事務組合

幅員が狭隘で急カーブが多い現道区間



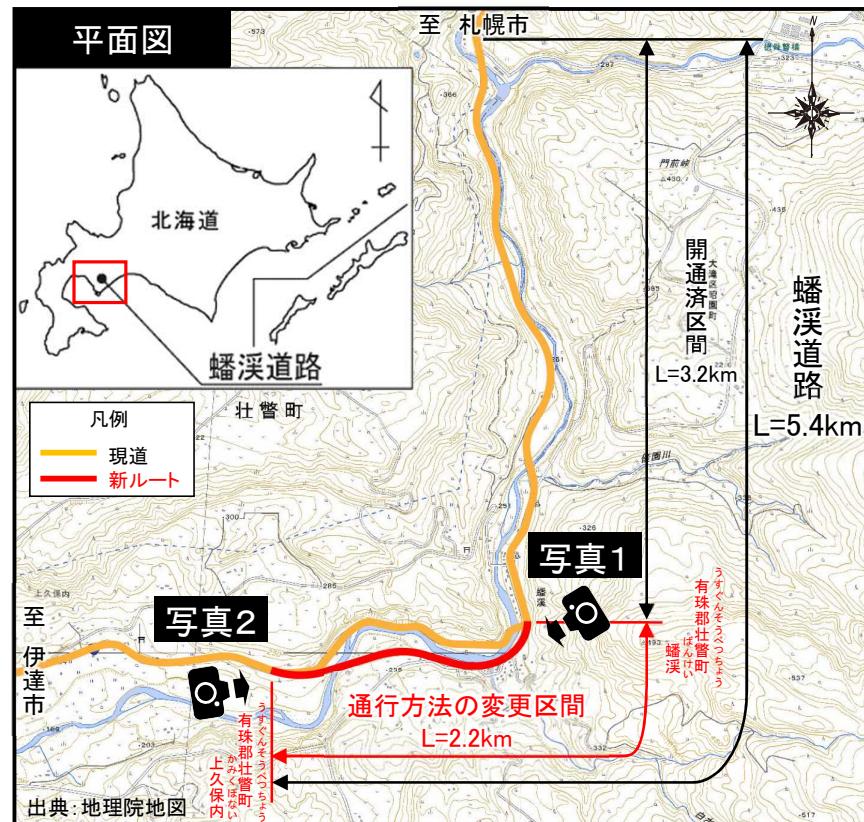
声

■ 消防機関

- 伊達市大滝区から室蘭市・伊達市の医療機関に救急搬送する際は、国道453号 蟻溪道路を通行していますが、整備以前の国道453号 蟻溪道路では、大雨により通行止めが発生しやすく、崖地からの流水によって走行の安全性が損なわれることもありました。
- 国道453号 蟻溪道路の全線整備により、通行止めの発生リスクの低減や通行時の視認性が向上し、安全性の向上や救急搬送時間の短縮が図られ、患者の負担軽減も期待されます。

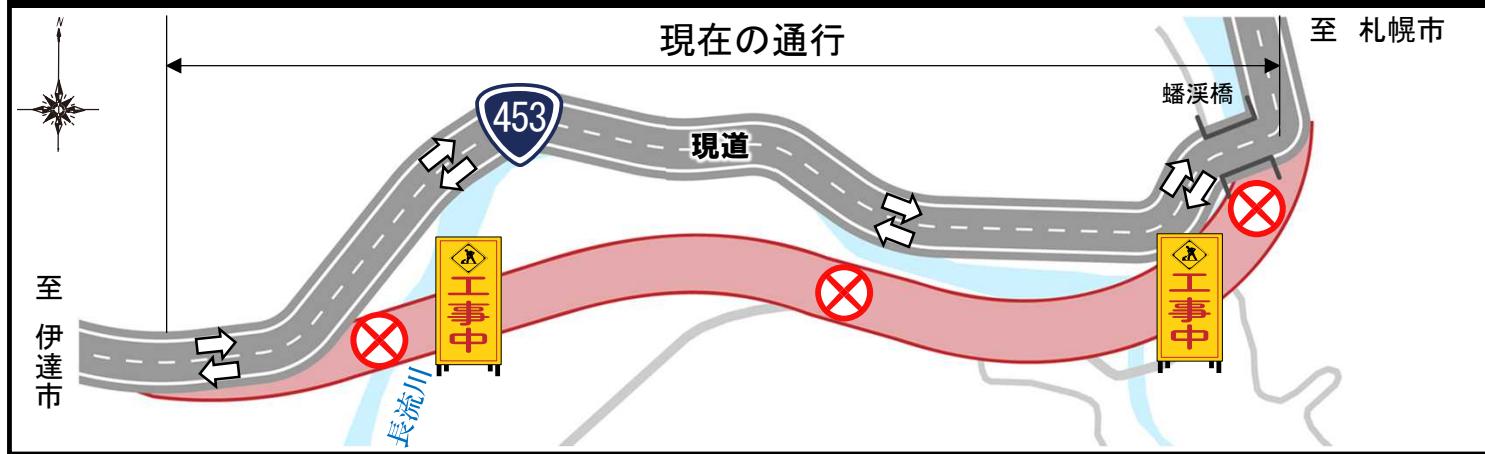


国道453号（蟠溪道路）の通行方法の変更について



【通行方法の変更】

現在の通行方法



令和8年1月16日（金）7時からの通行方法

